



2019年4月1日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社
 代表者の役職名 代表取締役社長 下村 哲朗
 (コード番号 8518 東証一部)
 問い合わせ先 執行役員 岸本 謙司
 T E L 03(3259)8518

「従来連結基準による見込値」の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年12月25日に開示した「従来連結基準(注2)による見込値」を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当該「従来連結基準(注2)による見込値」は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいて作成しております。そのため、実際の業績は、今後の決算手続きで集計していく過程において様々な要因により、記述されている内容とは異なる可能性があります。

記

1. 「従来連結基準(注2)による見込値」の修正

2019年3月期連結累計期間 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (注1) (円)
前回発表見込値(A)	2,300	100	0	470	26.55
今回修正見込値(B)	2,450	180	80	550	31.07
増減額(B-A)	+150	+80	+80	+80	
増減率(%)	+6.5%	+80.0%	—	+17.0%	
(参考)従来連結基準(注2) 2018年3月期 通期 実績値	5,403	1,017	954	874	49.40

(注1)上記表中の「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2018年12月31日現在の期中平均株式数を使用しております。

2. 修正の理由

営業収益は、前回発表見込値に比べ6.5%増加する見込みです。株式の売却は、投資先の新規上場が延期されたことなどから見込みを下回りましたが、これを補うために第4四半期に2件のメガソーラープロジェクトを売却したことが増加要因です。また、これに伴い利益も80百万円程度増加する見込みです。

3. 「従来連結基準(注2)による見込値」について

当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を

元に策定した「従来連結基準(注 2)による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

なお、当該「従来連結基準(注 2)による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

(注 2) 従来連結基準

当社グループでは、2007 年 3 月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 2006 年 9 月 8 日 実務対応報告第 20 号)を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまに、当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識頂くためには、従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えており、参考情報として、従来の会計基準に従って、投資事業組合については、資産、負債及び収益、費用を外部出資者の持分を含まない当社及び関係会社の出資持分に応じて計上し、また、会社型ファンドについては連結の範囲から除いた連結財務諸表等を「従来連結基準」として継続的に開示しております。

以上